37 01 07 01 02 007

事務事業評価表

１．基本事項

作成日　令和03年01月29日（金）

事務事業	中小企業融資あっせん事業	担当課	商工振興課	担当係	商工振興係	管理番号	3725
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政分野別	大項目 200003 活力とにぎわいにあふれるまち（産業振興） 中項目 200002 雇用とにぎわいを生み出すまちづくり 小項目 200001 商工業の振興	根拠法令個別計画等	深谷市中小企業緊急運転資金貸付要綱 深谷市中小企業近代化経営資金融資要綱 深谷市小口融資あっせん規則 深谷市小口融資制度完済奨励金交付要綱				

事業概要	市内中小企業の経営安定化を図ることを目的に、市内金融機関に対し預託し、預託金の７倍の金額の範囲内で、融資限度額２，０００万円、返済期間１年～１２年以内の融資のあっせんを行う。
目的 ※何のために	市内中小企業の経営安定化を図るため
対象 ※誰・何を対象に	市内中小企業者
手段 ※どのように	低利率での融資あっせんを行う（預託金額７倍の範囲内、融資限度２，０００万円）
成果 ※何を求めるか	市内中小企業の緊急的な資金需要に対応することができる
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　■ その他（市内金融機関）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費	中小企業融資あっせん事業	23,324,670
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 制度融資の周知ＰＲ	・ 代位弁済による損失補償金の支出
・ 制度融資預託金の支出	・
・ 制度融資預託金の回収	・
・ 制度融資あっせん事務	・
・ 完済奨励金の申請受付	・
・ 完済奨励金の交付	・

２．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			融資あっせん	融資あっせん	融資あっせん	融資あっせん	融資あっせん	
事業費	予算（現額）		75,409,000	64,984,000	49,281,000	43,270,000	82,332,000	
	決算額		39,803,238	31,745,128	23,324,670	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	73,869,000	31,282,000	23,052,000	41,608,000	78,420,000	
		一般財源	0	463,128	272,670	1,662,000	3,912,000	
人件費	従事職員数（人）		0.34	0.54	0.43	0.82	0.82	
	人件費相当試算※１		2,644,860	4,202,280	3,485,150	6,681,360	6,681,360	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			76,513,860	35,947,408	26,809,820	49,951,360	89,013,360	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
□	活動指標１	提携金融機関数	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		提携可能な市内金融機関（現在１４機関）すべて							
		当該年度末日実績									
□	成果指標１	公的な融資制度のうち市の融資制度を活用した企業の割合	目標値	%							■
			実績値		0.00	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		深谷市の融資あっせん事業は、国県を含めた上での最後のセーフティネットとの位置づけ							
		市の融資制度活用件数／公的な融									
■	成果指標２	預託金額	目標値	千円							■
			実績値		39,578.00	31,282.00	24,568.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		深谷市の融資あっせん事業は、国県を含めた上での最後のセーフティネットとの位置づけ							
		当該年度末日実績									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	B	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 埼玉りそな銀行（深谷・岡部）、群馬銀行（深谷・深谷上柴）、足利銀行、武蔵野銀行（深谷・川本）、東和銀行（深谷・深谷南）、埼玉縣信用金庫、埼玉信用組合（深谷・岡部）、熊谷商工信用組合（川本・花園）の１４金融機関と提携を継続している。
成果 （意図した成果が上がっているか）	-	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 深谷市の融資制度は国県を含めて考えており、その中で最後のセーフティネットと位置づけている。他の制度で該当しなかった際の制度であり利用数が少ないのは仕方がないと捉えている。なお年度最終には新型コロナウイルス感染症の影響による事業所の資金需要に応えるべく、特別枠の創設を検討した。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	商工振興係長　関口　真

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	中小企業融資あっせん事業	担当課	商工振興課	担当係	商工振興係	管理番号	3725

□ ① 現状のまま継続
■ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
■ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

深谷市は融資あっせん制度を、国県等の制度を全体と捉えたうえで、その中の最後のセーフティネットとして位置づけている。他の制度と無理な競争をすることはせず、必要な制度を研究していく。
新型コロナウイルス感染症の影響による事業所の資金需要の高まりがあり、令和２年度４月に運用開始できるよう特別枠の創設をする。

評価者	商工振興課長　佐藤　靖彦

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

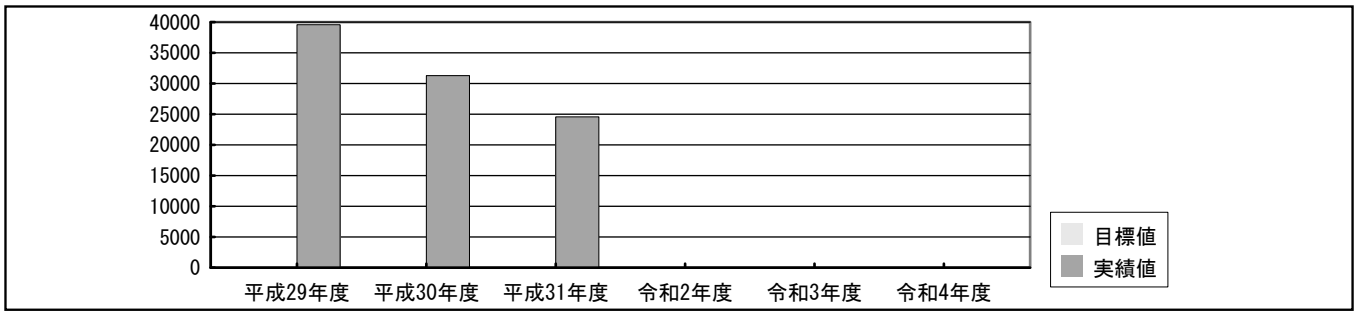
改善・改革案	令和２年３月ごろより新型コロナウイルス感染症の影響による事業所の資金需要の高まりが感じられる。国、県も既存の枠組みの中でその対応をするのだろうが、深谷市も小口資金の特別枠として対応していく。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

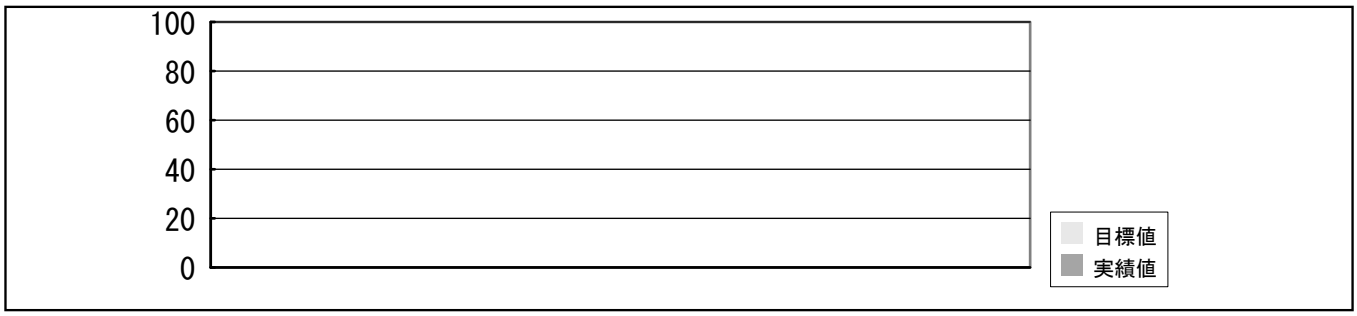
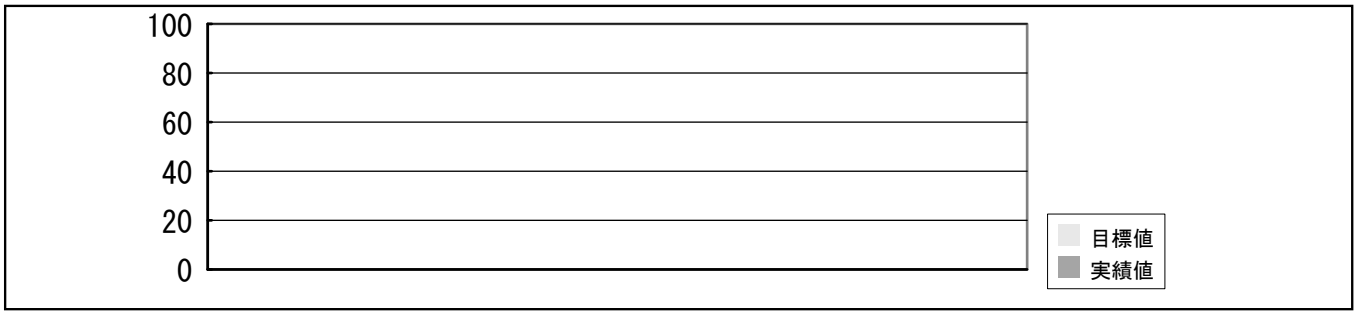
今後の課題	新型コロナウイルス感染症の影響による資金需要に対し、深谷市の制度融資の創設と運用。

９．評価指標グラフ

区分	成果指標２	指標名	預託金額



区分		指標名	



区分		指標名